

かがみい 議会だより

No. 169
平成30年8月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町
不特345
電話0248(62)2110
印刷 南永山印刷



今年も 家族で田植え がんばるぞー!!

6月2日(土)町図書館北側の水田で、田んぼアート実行委員会主催による「豊作祈願田植え祭り」が開催されました。

目次

第12回6月定例会	2・3ページ
審議の結果	4・5ページ
一般質問	6～8ページ
議運所管事務調査	9ページ
町民の声	10ページ

町民の声 NPO法人 全国こどもを育む会理事 佐伯英俊



佐伯英俊 さん

普通学級に在籍している軽度の障害のある児童生徒が、障がいによる困難の改善、克服のための教室。或いは自校にないため他校の教室で学ぶことができる通級教室があります。当初は、ことばやきこえに障がいのある子どもが対象でしたが、最近では情緒、弱視、知的障がいなど発達障がいのある子ども達まで幅広く教室を設けて通級できるようになりました。

私の子どもは須賀川市立第一小学校にあることばの教室に通い、改善することができました。

少子化が進むなかで、何らかの障がいを持つ子どもが増えており、通級教室の設置が

望まれているところですが、まだまだ教室が不足してきて、全ての子ども達に光が当てられていません。東北では、岩手県が唯一全市町村に通級教室が設置されており子ども達が学んでいます。

障害者差別解消法が施行されてから、三年前に文科省の特別支援教育の調査官を招いて鏡石公民館で「発達障がい」の勉強会を行いました。二年前には同じ文科省の調査官を招いて福島市で「合理的配慮」について勉強会を。昨年は、鏡石第一小学校のあやめホールで島根県安来市立第三中学校通級指導教室の先生を招いて「インクルーシブ教育と合理的配慮の現状と課題」について学びました。先生はピアノ演奏の活動も行い、全国で公演活動も行っています。実は、島根県も離島を含め全市町村に通級教室が設置してある先進地なのであります。

がいのある子ども達とその親御さん達と交流をしています。が、教室数が絶対的に少ないこと、幼児期からその教育が必要であり、近年高等学校にまで教室が広がっています。教室を増やすと言っても、それらの教育に携わる先生方の育成も大切です。我が町の現状はいかがなものでしょうか。何よりも人作りが大事、教育が大切であると叫ばれますが、かけ声だけで実行されないのでは、寂しい限りです。かつては、白河市にありましたが、こえの教室が対象児がいるにもかかわらず無くなってしまいました。それは、通級教室に通う子どもの数が十人程度と定められており定数減になってしまったからです。

通級教室を担当する教員をこれまで子ども数によって加配することになっていますが、今後は、教員を定数化して配置するよう改善が十年をかけて図られています。十年の間には学校を巣立ってしまいう子ども達は何人いるでしょうか。

「子どもを真ん中に親と先生が三人四脚で」。全ての子ども達に光が当たりますよう願うばかりです。

町議会・議員の活動



全議員により南高久田ポンプ場を視察

4月20日開催された定例全員協議会において、現在進めている上水道の第五次拡張事業について、共通理解を深めるため、南高久田ポンプ場などを現地調査しました。

編集後記

2014年「号泣議員」が世間を騒がせてから、もう6年が経過したが、その後も議員としての資質が疑われるような行為や、政務活動の不正利用が相次いでいる。自治体議会の現状と問題点が浮き彫りされ、これほどに議会のあり方が問われていても、やまない不正の現状が具体的に明らかにされている。当議会において、4月より議会基本条例が施行された。信頼される議会”を目指し、我々議員も常に研鑽を積みまなければならない。

発行責任者 議長 渡辺 定己
 広報編集委員会 委員長 小林 政次
 副委員長 木原 秀男
 委員 古川 文雄
 委員 菊地 洋
 委員 長田 守弘
 委員 畑 幸一

平成30年度一般会計補正予算と 陳情書及び議員発議案

【議案第216号】平成30年度一般会計補正予算(第1号)について 一般会計予算の総額に6,704万円を増額 **可決**

増額補正の
主なもの

- ・社会資本整備総合交付金事業……………6,510万円
(高速道路跨道橋修繕工事、中外線道路改良工事等)
- ・元気キッズサポーター派遣事業……………152万円
- ・町民プール施設修繕事業……………104万円

※減額補正された事業もあるため、補正総額と合致しません。



元気キッズサポーター事業



高速道路跨道橋修繕工事

1件の陳情を採択、議員発議案により意見書提出へ

陳情書2件を受け付け、各常任委員会での審査の結果を踏まえ、陳情第17号は採択、陳情第18号は継続審査としました。

総務文教常任委員会

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書について

意見書

震災により経済的に困窮している子どもたちの就学・修学を保障する被災児童生徒就学支援等事業を平成31年度以降も継続し、十分な予算を確保するよう国に求める。

【意見書の送付先】復興・文部科学・総務・財務各大臣

産業厚生常任委員会

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書について

継続審査

※継続審査であった陳情第14号は不採択としました。(5ページを参照)

第12回6月定例会

第12回鏡石町議会定例会は6月6日(水)から12日(火)まで開かれ、平成29年度予算の専決処分や副町長の再任同意など合わせて25の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月7日(木)に行われ、2名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。



ふくしま森林再生事業

今定例会では専決処分等14件の報告があり、一般会計及び特別会計合わせて5事業の繰越明許の報告がありました。この中で東日本大震災関連の繰越事業は、前年度と同様に森林整備と放射性物質の拡散防止対策を一体的に実施し、森林の再生をめざす「ふくしま森林再生事業」25,720千円の1件だけとなりました。

繰越5件で
内・震災1件

人事案件の内容

【議案第218号】副町長の選任につき同意を求めることについて

小貫忠男副町長を再任で **同意**

任期満了に伴う副町長の選任案が提出され、審議の結果、全会一致で同意いたしました。任期は、平成30年7月1日から4年間です。

同意された小貫忠男氏は、平成26年7月から副町長に就いており、再任にあたり、「3期目を迎える遠藤町長を目指す、まちづくりの実現に向けて、微力ではありますが努めて参ります。」とあいさつがありました。



【議案第212号】固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

齊藤栄治氏(岡ノ内)を再任で **同意**

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任案が提出され、審議の結果、全会一致で同意いたしました。任期は、平成30年7月1日から3年間です。



【諮問第4号】人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

岡部ちよ子氏(鏡沼)を推薦することに **同意**

前任者の任期満了に伴う人権擁護委員の推薦案が提出され、審議の結果、全会一致で推薦同意いたしました。任期は、平成30年10月1日から3年間です。



※30年6月定例会議案（報告等含む）25件

（条例改正4件、補正予算10件、副町長・委員同意3件、陳情3件、意見書案1件、その他4件）

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
報告第36号	専決処分した事件の承認について 鏡石町税条例の一部を改正 (町たばこ税等改正関連など)	報告第48号	鏡石町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について (既存下水道管の長寿命化事業のための財源3,402千円の繰越報告)
報告第37号	専決処分した事件の承認について 鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正 (国民健康保険税の限度額規定等の改正)	諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (岡部ちよ子氏の委員推薦同意)
報告第38号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町一般会計補正予算(第8号) (3月末の整理予算169,023千円を減額)	議案第212号	固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意を求めることについて (斉藤栄治氏の委員再任同意)
報告第39号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第5号) (3月末の事業実績により37,074千円を増額)	議案第213号	鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について (国保税本算定に伴う算定額の改正)
報告第40号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号) (3月末の事業実績により761千円を減額)	議案第214号	鏡石町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (児童福祉法の改正に伴う放課後児童支援員の資格要件の改正)
報告第41号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町介護保険特別会計補正予算(第3号) (3月末の事業実績により22,600千円を減額)	議案第215号	損害賠償請求に係る反訴の提起について (本年1月に赤沼不動産から訴えのあった損害賠償請求訴訟に対し反訴を提起)
報告第42号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算(第2号) (3月末の事業実績により1,433千円を減額)	議案第216号	平成30年度鏡石町一般会計補正予算(第1号)(社会資本整備総合交付金及び元気キッズサポーター派遣事業補助金の内示などによる67,040千円の補正増)
報告第43号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算15,017千円を減額)	議案第217号	平成30年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)(社会資本整備総合交付金の内示に伴う財源組み換え)
報告第44号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号) (3月末の整理予算13,517千円を減額)	陳情第14号	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択についての陳情
報告第45号	専決処分した事件の承認について 平成29年度鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) (3月末の整理予算5,200千円を減額)	陳情第17号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書
報告第46号	鏡石町一般会計繰越明許費繰越計算書について (3事業の45,903千円繰越報告)	陳情第18号	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書
報告第47号	鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について (駅東第1土地区画整理事業の16,807千円繰越報告)	議案第218号	副町長の選任につき同意を求めることについて
		意見書案第14号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)

第12回定例会審議の結果

*「○」賛成 「×」反対 「-」渡辺定己議長は採決に加わらない

議案・報告等	結果	小林政次	橋本喜一	古川文雄	菊地洋	長田守弘	畑幸一	井土川好高	大河原正雄	今泉文克	木原秀男	渡辺定己
報告第36号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第37号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第38号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第39号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第40号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第41号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第42号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第43号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第44号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第45号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第46号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第47号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第48号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第4号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第212号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第213号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第214号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第215号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第216号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第217号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第14号	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
陳情第17号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第18号	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第218号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書案第14号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



畑 幸一議員

- 進化する元気な町づくりの取組みについて
- 町民生活の充実と不安解消について
- 投票率の向上を図る取組みについて

質問

まちの駅「かんかんてらす」の状況と北谷町との連携は、

全ての町民がライフステージに応じた、健やかで、心豊かに、生き生きと暮らせる町づくりの為、現施設機能の充実を図るとともに、各種施策の推進に努めて参ります。

町長

「笑顔と健康」の町づくりプランについて伺う。

質問

平成28年3月に「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。4つの基本方針を掲げ、各種事業を計画しています。なお、今年度は「空き家対策調査事業」を実施し、当町にあつた事業を調査研究して参ります。

総務課長

定住化促進の施策とは、何か。

質問

オープンから3週間で、町内外から平均毎日240人の来館者があります。今後の取り組みは、商工会や観光協会、各種団体等一体となり、より親しまれる施設となるよう運営に努めます。さらに、北谷町とも交流して参ります。

町長

行政改革として、もっと改善し、無駄のない行政を推進する方策はあるのか。

質問

高齢者世帯への支援策について伺う。

町長

2040年には、1人暮らしが40%になる見込みです。現在町社会福祉協議会で実施している、おでかけ支援ゆうあいバス運行事業への補助、生きがい活動支援事業等の委託、緊急通報システム事業を

質問

福社子ども課長

福社子ども課長

給水開始から50年以上経過し、浄水施設や水源施設、水道管の多くは老朽化が進んでいます。新浄水場の整備計画、規模については、安全で快適な水の供給や災害時にも安定的な給水を行うための施設水準の向上等を考慮し計画しています。

上下水道課長

選挙管理委員会書記長

選挙管理委員会書記長

平成29年10月の衆議院総選挙では、町が41.79%、福島県が39.26%、全国が40.49%と福島県と全国の平均を上回っています。20代、30代の投票率が悪いので、高等学校卒業後も継続して投票所に足を運んでもらうことが大きな課題となっております。

質問

期日前投票の現状と課題について伺う。

質問

20歳未満の投票率の現状と課題について伺う。

質問

継続し、今年度は新たに徘徊高齢者搜索ネットワークシステムを構築して参ります。

質問

福社子ども課長

福社子ども課長

今後、超高齢化社会を迎える中で、孤独死も増えてきますので、行政として本人の終活にどれだけ寄り添えるのか、調査研究に努めて参ります。

質問

選挙管理委員会書記長

選挙管理委員会書記長

平成28年度の参議院議員選挙と平成29年度の衆議院議員総選挙を比較しますと、同種の前回選挙よりも、投票率は向上している状況です。特に大きな課題はありませんが、より効率的に行うよう検討して参ります。



一般質問

一般質問

は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
7	畑 幸一	○ 進化する元気な町づくりの取組みについて ○ 町民生活の充実と不安解消について ○ 投票率の向上を図る取組みについて
8	菊地 洋	○ 「かんかんてらす」の運営状況について ○ 農業政策としての補助金制度と耕作放棄地対策について ○ 町長の政治姿勢について

議会傍聴へおいで下さい

次回の9月定例会は、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。あなたの目や耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴の手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

議員が町政を問う

今年度の

議会運営委員会所管事務調査報告

～議会の活性化に目を向けて～



大洗町議会の議場を見学

平成30年度議会運営委員会（長田守弘委員長）の研修は5月8日（火）・9日（水）、茨城県の大洗町と美浦村において実施しました。今回の視察研修の主なテーマについては議会報告会の実施内容についてや、議会としてのパーパールの取組みについて視察調査しました。大洗町では、議会報告会を予算・決算議会（3月・9月）終了後開催し、町民から意見を聴いた内容を議員それぞれで検



美浦村議会と意見交換

討・調査し、12月定例会において執行に提案していくものでした。美浦村では、議会としてのパーパールの取組みとして、タブレットを導入しています。情報システムの最適化を行政全体で目指したもので、議会もその中で取組み、議案書などの紙配付を全廃する完全パーパレス化を実現していました。今回の調査研修内容を今後の参考とし、引き続き研究して参ります。

議会運営委員会研修

特別功労者・自治功労者で県表彰受賞

6月4日開催の福島県町村議会議長会平成30年度定期総会において表彰を受けた特別功労者及び自治功労者表彰の伝達式が第12回定例会に先立ち行われました。

特別功労者については、町村議会議員として20年以上在職したとして、今泉文克議員と木原秀男議員が、また、自治功労者については、議長として6年以上在職したとして渡辺定己議長がこのたび表彰されたものです。

おめでとうございます。



特別功労賞表彰 今泉・木原議員



自治功労賞表彰 渡辺議長

一般質問

- 「かんかんてらす」の運営状況について
- 農業政策としての補助金制度と耕作放棄地対策について
- 町長の政治姿勢について



菊地 洋議員

質問
オープンからの来館者と売り上げの状況はどのようになっているのか。

産業課副課長
5月16日（水）オープン以来、5月末現在の来館者数は約3,900人、1日平均約240人、売上は、16日間16万円、1日当たり約7万2千円です。

質問
オープン後の諸課題はあるのか。

産業課副課長
物販時間の延長と町外からの車の案内表示板の設置、駅利用者との送迎時における駅前ロータリーの混雑緩和対策などがあります。

質問
今後の運営方針と活用方法はどのように考えているのか。

町長
町の観光・交流拠点として観光資源である「田んぼアート」、鳥見山公園、岩瀬牧場

など、まちなか周遊を促し、6次化商品開発や創業支援などにより賑わいの創出につなげて参ります。

質問
農業政策としての飼料用米の作付状況と農家への補助金はどのようになっているのか。

産業課副課長
平成30年から主食用米作付の生産数量目標が廃止されましたが、作付状況は、平成29年84名68haから、平成30年67名52haで17名、15haの減となりましたが、主食用米の作付面積は逆に5ha増加しました。補助金は、国の水田活用直接支払交付金が10a当たり最大10万5千円、産地交付金県域枠が9千円から1万2千円、産地交付金地域枠が5千円、町単独が千円から3千円となっており、一般品種の合計で10a当たり、9千5百円、多収品種で最大12万5千円となっています。

質問
農業従事者の高齢化と新規就農者の実態はどうなっているのか。

産業課副課長
農業経営者の平均年齢は、61.5歳で県内2番目に若い状況です。新規就農者は、平成25年度1名、26・27年度は30名、28年度2名、29年度は3名です。

質問
町の耕作放棄地の現状は。

産業課副課長
平成27年度64.6ha、28年度68.0ha、29年度71.8haとなつていきます。内訳は田んぼ6割、畑4割です。対策として「農地再生プロジェクト」をスタートさせました。

都市建設課長
道路配置計画は、都市計画道路2路線、区画道路23路線、歩行者専用道路4路線で総延

質問
土地規制の状況と建築可能な建物及び先行取得土地の活用はどのようになっているのか。

町長
土地規制は、県道成田鏡田線沿線を準住居地域、その北側の構造改善センター付近を第一種中高層住居専用地域に指定しています。先行取得土地は、公共公益施設用地として、（仮称）健康福祉センターを建設予定しています。

質問
上下水道課長
浄水場の用地買収等を含めて約50億円と試算しています。料金改定は、給水人口の減少や節水型社会により必要不可欠であると考えています。

質問
町長の政治姿勢として、駅東第1土地区画整理事業第3工区の道路配置計画をどのように考えているのか。

上下水道課長
浄水場の用地買収等を含めて約50億円と試算しています。料金改定は、給水人口の減少や節水型社会により必要不可欠であると考えています。